

科目ナンバリング		U-LAS03 10002 SB48										
授業科目名 <英訳>		外国文献研究（文・英）A-E1 Readings in Humanities and Social Sciences (Letters, English)A-E1					担当者所属 職名・氏名		文学研究科 教授 定延 利之			
群	人文・社会科学科目群			分野(分類)		外国文献研究			使用言語	日本語		
旧群	C群	単位数	2単位		週コマ数	1コマ		授業形態	演習（対面授業科目）			
開講年度・ 開講期	2025・前期		曜時限	水3			配当学年	2回生以上		対象学生	文系向	
【授業の概要・目的】												
この授業では、言語学において既に評価が定まった著名な研究者たちによる古典的で平易な文章で書かれた論文を通して、人間の言語のあり方に関する基本的な知識を得ることを目的とする。また同時に、英語で書かれた学術的な文章を理解し、平易な日本語に置き換えることができるようになることを目指す。												
【到達目標】												
日常のコミュニケーションの中で人間が発話をどのようにおこなっているのか、そこで言語がどのように働き、どのように生まれるのかについて、英語で書かれた文章を読む（そして概要を発表する）ことによって理解する。												
【授業計画と内容】												
以下のような計画に従って授業を進める。（但し履修者の興味と理解度によって変更の可能性はある。）												
第1回で授業の進め方を解説し、第2回以降は論文を順に読んでいく。												
第2回 第1論文(1)												
第3回 第1論文(2)												
第4回 第1論文(3)												
第5回 第2論文(1)												
第6回 第2論文(2)												
第7回 第2論文(3)												
第8回 第3論文(1)												
第9回 第3論文(2)												
第10回 第3論文(3)												
第11回 第4論文(1)												
第12回 第4論文(2)												
第13回 第4論文(3)												
第14回 まとめ												
第15回 テスト												
第16回 フィードバック												
【履修要件】												
論理的な長文の英語を読む能力と、人間の言語に関する基本的な知識を前提とするため、対象回生を「2回生以上」とする。												
----- 外国文献研究（文・英）A-E1(2)へ続く -----												

外国文献研究（文・英）A-E1(2)

【成績評価の方法・観点】

平常点（テキストの内容に関する質問にどれだけ答えられるか＋概要発表の出来映え）（50点満点）、期末の筆記試験（50点満点）により評価する。

【教科書】

以下の論文を取り上げる予定である。（これらの論文は授業中に配布する。）

Chafe, Wallace L. 1992. "Immediacy and displacement in consciousness and language." In Dieter Stein (ed.), *Cooperating with Written Texts: The Pragmatics and Comprehension of Written Texts*, pp. 231-255, Berlin; New York: Mouton de Gruyter.

Labov, William. 2003. "Uncovering the event structure of narrative." In Deborah Tannen and James E. Alatis (eds.), *Linguistics, Language, and the Real World: Discourse and Beyond*, pp. 63-83, Washington, D.C.: Georgetown University Press.

Gumperz, John, and Deborah Tannen. 1979. "Individual and social differences in language use." In Charles J. Fillmore, Daniel Kempler, and William S-Y. Wang (eds.), *Individual Differences in Language Ability and Language Behavior*, pp. 305-325, New York: Academic Press.

Bybee, Joan, and Paul Hopper. 2001. "Introduction to frequency and the emergence of linguistic structure." In Joan Bybee and Paul Hopper (eds.), *Frequency and the Emergence of Linguistic Structure*, pp. 1-24, Amsterdam; Philadelphia: John Benjamins.

【参考書等】

（参考書）
授業中に紹介する

【授業外学修（予習・復習）等】

指定された概念の復習や概要発表の作成

【その他（オフィスアワー等）】

事前にメールでアポイントメントをとってください。
sadanobu.toshiyuki.3x&kyoto-u.ac.jp（「&」を「@」に変えてください。）

履修定員を30名とし、履修人数制限を行うため、履修を希望する者は履修人数制限科目申込期間にKULASISから申し込むこと。

なお、以下の条件順で抽選を実施し、履修を許可する。

- 1．文学部の4回生（所属系は問わない。）
- 2．文学部行動・環境文化学系の2・3回生
- 3．上記系以外の文学部2・3回生
- 4．文学部以外の学生